

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 6月～2024年 5月)



株式会社酒井電気建設

発行日： 2024年9月20日

改定日： 2025年4月3日

I. ごあいさつ

株式会社酒井電気建設は、平成2年の設立以来、電気工事を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環 境 経 営 方 針

当社は、電気工事、電気通信工事、管工事、水道施設工事、土木工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境保全及び環境経営の継続的改善を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油、灯油）。
3. 廃棄物の削減を推進します。
4. 建設リサイクルを推進します。
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工を推進します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2018年5月21日

改訂日：2020年5月21日

代表取締役 酒井規和

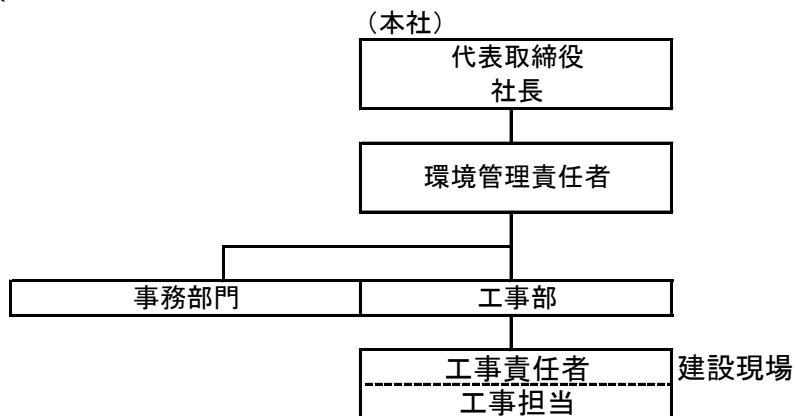
Ⅱ. 組織の概要

- 1) 名称及び代表者名
株式会社酒井電気建設
代表取締役 酒井規和
- 2) 所在地
本 社 〒669-3464 兵庫県丹波市氷上町石生1763-8
- 3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 代表取締役 酒井規和 TEL:0795-82-3191
担当者 同上 FAX:0795-82-3511
Email:n-sakai@net-work.ne.jp
- 4) 事業内容
電気工事、電気通信工事、管工事、水道施設工事、土木工事
許可番号 兵庫県兵庫県知事許可 第 751626 号 令和 4年 7月 1日許可
有効期限 令和 9年 6月30日
- 5) 事業の規模
設立 平成2年9月17日
資本金 2,000万円
売上高 69百万円 (2023年度実績)

各事業所の規模

	本社	合計
従業員	5名	5名
延べ床面積	430㎡	430㎡

6) 組織



- 7) 事業年度 6月～翌年5月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社酒井電気建設
対象事業所： 本社
対象外： なし
活動： 電気工事、電気通信工事、管工事、水道施設工事、土木工事

IV. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	11,112	7,969	7,422	9,095	7,640
電力	kWh	6,893	5,832	6,409	6,709	7,098
ガソリン	L	3,153	2,153	1,817	2,205	1,828
軽油	L	320	397	414	674	399
灯油	L	268	0	0	0	0
廃棄物排出量	t		545.13	0.86	15.51	15.57
一般廃棄物	t	実績不明	0.13	0.15	0.13	0.22
産業廃棄物	t	14.36	545.00	0.71	15.38	15.35
総排水量	m ³	18	18	18	18	18

※化学物質の使用はありません

V. 環境目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2017年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	11,112	10,668	10,556	10,445	10,334
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%
電力使用量削減	kWh	6,893	6,617	6,548	6,479	6,410
	kg-CO ₂	2,302	2,210	2,187	2,164	2,141
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%
ガソリン 使用量削減	L	3,153	3,027	2,995	2,964	2,932
	kg-CO ₂	7,315	7,023	6,948	6,876	6,802
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%
軽油 使用量削減	L	320	307	304	301	298
	kg-CO ₂	826	792	784	777	769
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%
灯油 使用量削減	L	268	257	255	252	249
	kg-CO ₂	667	640	635	627	620
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg	128.00	124.16	122.88	121.60	122.88
	対基準	(2018年度)	△3%	△4%	△5%	△6%
産業廃棄物 削減	t	14.36	13.64	13.50	13.35	13.21
	対基準		△5%	△6%	△7%	△8%
III. 建設リサイクル率 の向上	%	76	81	82	83	84
	対基準		△5%	△6%	△7%	△8%
IV. 水使用量 削減	m ³	18.00	17.00	17.00	17.00	17.00
	対基準		△4%	現状維持	現状維持	現状維持
V. 環境配慮製品の 提案と採用	件	26	29	30	32	34
	対基準	(2018年度)	+10%	+15%	+20%	+30%

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2018年度関西電力実績値調整後係数の
0.334kg-CO₂/kWh を使用。

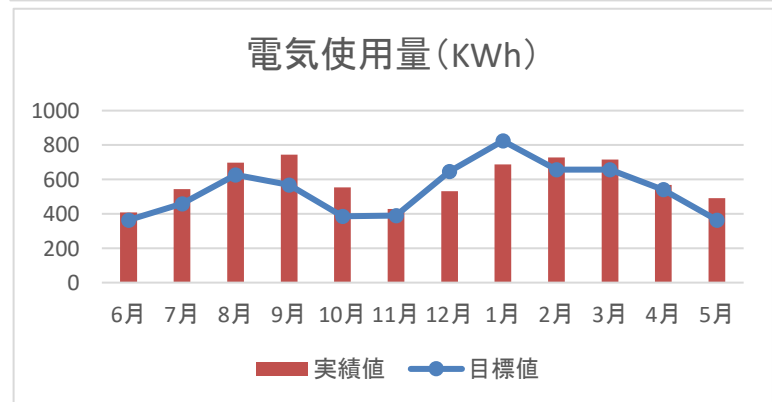
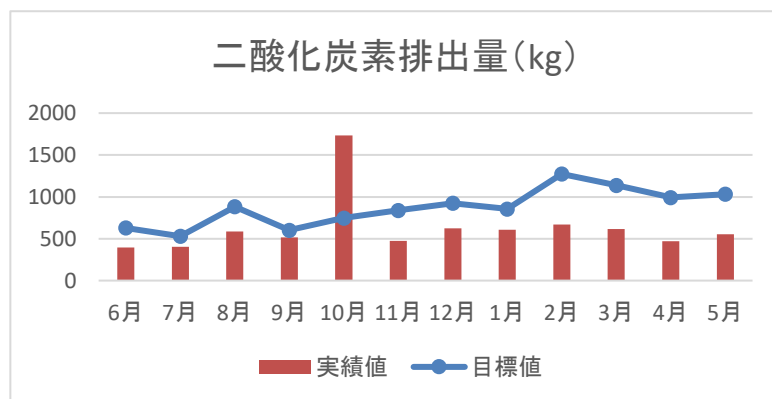
V. については工事提案（見積等）の件数とする。

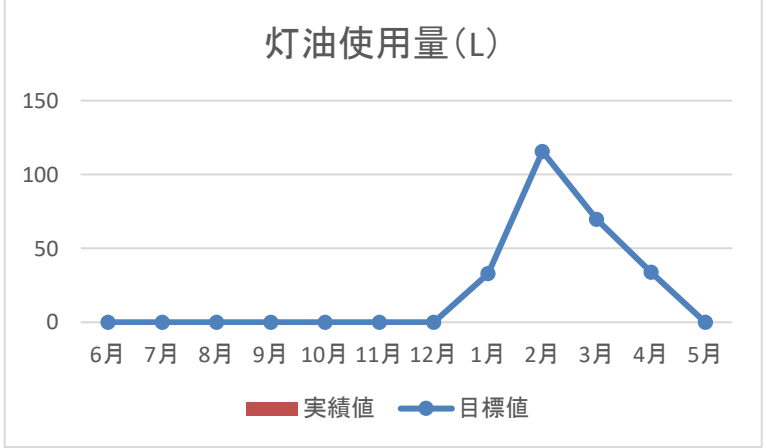
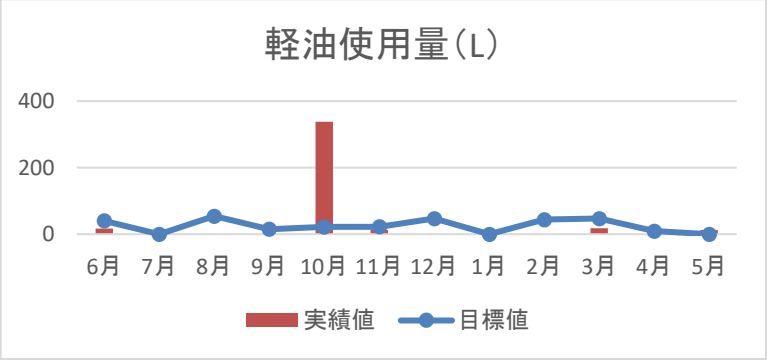
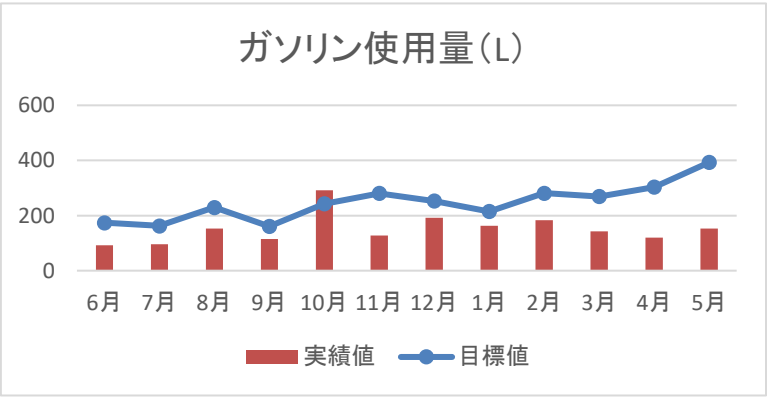
(2) 2023年度の実績

年 度 項 目		2023年度の実績				
		2017年	(2023年6月～2024年5月)			
			基準値	目標	実績	達成度
Ⅰ．二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	11,112	10,445	7,640	137%	○
			△6%	-31%		
電力使用量削減	kWh	6,893	6,479	7,098	91%	△
	kg-CO ₂ 対基準	2,302	2,164	2,371		
			△6%	3%		
ガソリン 使用量削減	L	3,153	2,964	1,828	162%	○
	kg-CO ₂ 対基準	7,315	6,876	4,241		
			△6%	-42%		
軽油 使用量削減	L	320	302	399	76%	×
	kg-CO ₂ 対基準	826	779	1,029		
			△6%	25%		
灯油 使用量削減	L	268	249	0	100%	○
	kg-CO ₂ 対基準	667	620	0		
			△6%	-		
Ⅱ．廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	128.00	123.00	215	57%	×
		(2018実績)	△5%	68%		
産業廃棄物 削減	t	14.4	13.35	15.35	87%	×
		0	△7%	7%		
Ⅲ．建設リサイクル率 の向上	% 対基準	76	83	92	111%	○
			△7%	21%		
Ⅳ．水使用量 削減	m ³ 対基準	18.00	17.00	18.00	94%	△
			現状維持	0%		
Ⅴ．環境配慮製品の 提案と採用	件 対基準	26	32	41	128%	○
		(2018実績)	+30%	58%		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成(100%以上)、△：やや未達成(100%未満)、×：未達成(90%未満)





VI. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)	◎	(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標やや未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	◎	夏期、冬季の空調により使用時間増加、 次年度も引き続き継続する
・不要照明の消灯	◎	通路・倉庫等での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・エコドライブの継続	◎	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・エコカーの導入	○	一部ハイブリッド車に更新、引き続き継続する。
軽油使用量の削減 (目標未達成)		
		重機使用工事が多く未達成となった。
・エコドライブの継続	△	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・排ガス対策重機の更新	○	リースが多く、仕様重機はほとんど排ガス対応であった。
灯油使用量の削減 (目標達成)		
・節減暖房の継続	-	灯油ストーブの廃止（エアコン更新による）現場使用なし
・改築予定	-	
	-	
一般廃棄物の削減 (目標未達成)		
・分別によるリサイクルの推進	○	排出量は増えたが、リサイクル率は上昇 引き続き、取組を継続する。
産業廃棄物の削減 (目標未達成)		
・分別によるリサイクルの推進	△	排出量増もリサイクル率アップ 引き続き、取組を継続する。
建設リサイクル率の向上 (目標達成)		
・分別によるリサイクルの推進	×	正確な排出量を把握する工夫をする。
・仮設資材の再利用の推進	○	大体出来ている。 引き続き、取組を継続する。
水使用量の削減（現状維持） (目標達成)		
・車両洗車の節水	○	現状継続
・垂れ流し禁止	○	
・清掃時や手洗い時の節水	○	現状継続
環境配慮製品の採用と提案 (目標達成)		
・環境配慮製品の採用と提案	○	環境配慮製品の採用及び取引先への提案を推進する。 引き続き継続する。
・環境にやさしい資材・機材の採用	○	エコパッケージ品、グリーン購入摘要品の使用。 今後さらに推進したい。

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設リサイクル法 省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出 規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 規制基準の遵守	遵守
低騒音・低振動型建設機械普及促進規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	低低排出ガス対策型建設機械の使用の普及・促進	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理 該当機器設置有無の確認、発注者への書面による説明	遵守
消防法	消火器の設置と維持管理 (消防法上は設置・点検の義務は無いが自主設置)	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

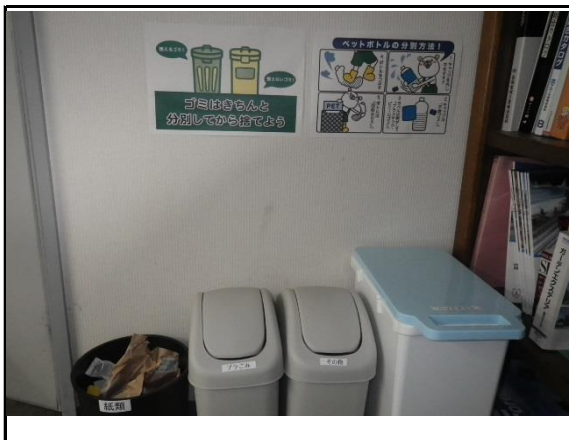
Ⅷ. 代表者による全体の見直し・指示

弊社は自然環境を次世代に残すため、またエコ活動の推進を通して効率の良い環境経営をおこなうためエコアクション21の取り組みをはじめましたが、本年が5年目となり環境経営活動も定着してきました。
弊社は営業の工種が多く、逆に全体の規模は小さいため、年度により工種ごと売り上げの比率が大きく変わります。当然、燃料・資材の使用量や、廃棄物の量も受注工事の工種によって大きく変動してしまいます。
近年の地球環境の変化による夏の猛暑、厳冬により空調による電気使用量などは増加傾向にあります。職場環境、健康に影響する部分については、定量的に削減するのは難しい部分もあります。燃料についてはエコ運転の推進、ルートの選定、乗りあわせなど、廃棄物に関しては施工効率を落とさない範囲での解体・分別などでリサイクル率を上げるよう推進するなど、この取り組みにより様々な活動が社内活動として定着してきつつあります。
また近年の資材価格も高騰しており、資材の手配方法や保管についても検討、効率化を図っていきたいと考えております。
電力やガソリン使用量については省エネタイプの機器への置換え、ハイブリッド車への入替などにより、見える形でCO2排出量が削減出来てきたと思います。
今後改善を要する部分もありますが、この活動を行うことにより以前よりも社員の意識改革にも繋がってきていると思われます。
今後、社員各個人の意識向上をはかり、さらなる二酸化炭素排出量、廃棄物の削減、資源の有効活用など環境活動、環境経営を行っていきたいと考えます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—
その他	否	—

2024年9月20日
代表取締役 酒井規和

IX. 環境活動の紹介



<事務所一般廃棄物分別>



<空調設定温度管理>



<各種掲示状況>



<各種掲示状況>



<各種掲示状況>